

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

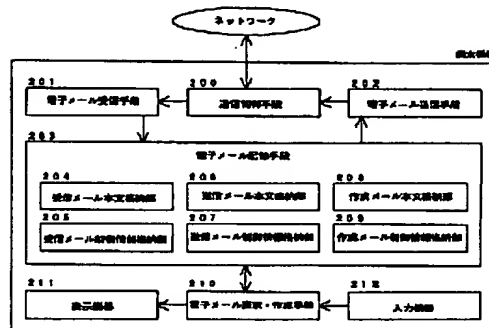
PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: **10027141 A**(43)Date of publication of application: **27.01.98**(51)Int. Cl. **G06F 13/00**(21)Application number: **08179093**(71)Applicant: **SHARP CORP**(22)Date of filing: **09.07.96**(72)Inventor: **ODA TADASHI****(54)ELECTRONIC MAIL SYSTEM****(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To generate a return mail through easy operation for a received electronic mail by transmitting even information in a sent mail control information storage part equipped with at least a transmission destination, title, and answer request setting means together with an electronic mail body.

SOLUTION: When an electronic mail requiring a return from its receiver is sent, the electronic mail body generated by an electronic mail display and generating means 210 is sent together with added information in the sent mail control information storage part 207 including the transmission destination, title, and answer request setting means, etc. Here, the answer request setting means is a means which generates the sent mail body requiring an answer from its electronic mail receiver by adding a mark code to an answer needed place and also adding a list of answer candidates. Consequently, the electronic mail receiver can generate and send a return mail only by selecting corresponding items out of a menu of functions and candidates for answering.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-27141

(43) 公開日 平成10年(1998) 1月27日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 13/00

識別記号

3 5 1

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 13/00

技術表示箇所

3 5 1 G

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号

特願平8-179093

(22) 出願日

平成 8 年(1996) 7 月 9 日

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 小田 正

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

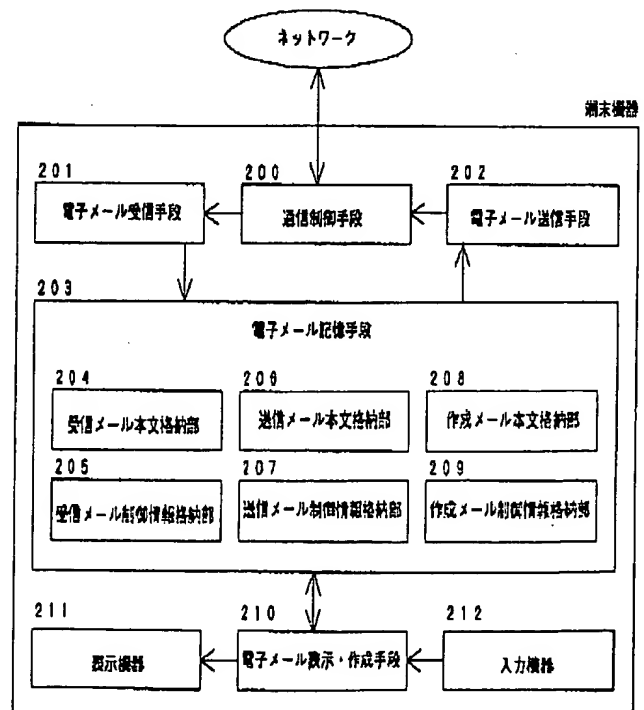
(74) 代理人 弁理士 梅田 勝

(54) 【発明の名称】 電子メールシステム

(57) 【要約】

【課題】 電子メールシステムの電子メール受信者が、簡単な操作で返信メールを作成できる電子メールシステムを提供する。

【解決手段】 送信メールの本文中に応答を要する部分の目印コードと応答候補リストを付加する手段と、送信メールの制御情報中に上記目印と応答候補リストの制御情報を付加する手段と、返信メール作成時に応答候補から応答を選択する手段と、受信メール作成時に受信メールと選択された応答から返信メールを自動的に作成する手段とを有し、電子メール送信者が送信メールの作成を行う際、制御情報と目印コードと応答候補リストを作成し、そして、電子メール受信者が返信メールの作成を行う際、応答候補リストから応答を選択することだけで、受信メールと選択された応答とを組み合わせ、返信メールを自動的に作成して送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールシステムにおいて、送信先の相手からの返信を必要とする電子メールを送信する場合に、電子メール表示・作成手段により作成された電子メール本文とともに、少なくとも送信宛て先、件名、応答要求設定手段を備えた送信メール制御情報格納部の情報をも送信することを特徴とする電子メールシステム。

【請求項2】 前記送信メール制御情報格納部が、送信先の相手からの応答必要箇所に目印コードを付与し、応答候補のリストを付加する応答要求設定手段を含むことを特徴とする電子メールシステム。

【請求項3】 電子メールシステムにおいて、受信者が返信を必要とする電子メールを受信した場合に、電子メール本文とともに、少なくとも送信元名、件名、送信元の応答要求設定手段により設定された受信メールの応答要求箇所の目印コードや応答候補のリストを表示、かつ選択可能な応答要求表示選択手段の情報をも受信メール制御情報格納部内へ受け取ることを特徴とする電子メールシステム。

【請求項4】 電子メールシステムにおいて、受信者が返信メールを作成する場合に、前記応答要求表示選択手段により選択する応答を用いることにより、返信メールを自動的に作成し、送信元へ返信することを特徴とする電子メールシステム。

【請求項5】 電子メールシステムにおいて、送信先の相手からの返信を必要とする電子メールを送信する場合に、電子メール表示・作成手段により作成された電子メール本文とともに、少なくとも送信宛て先、件名、応答要求設定手段を備えた送信メール制御情報格納部の情報をも送信する段階と、受信者が返信を必要とする電子メールを受信した場合に、電子メール本文とともに、少なくとも送信元名、件名、送信元の応答要求設定手段により設定された受信メールの応答要求箇所の目印コードや応答候補のリストを表示、かつ選択可能な応答要求表示選択手段の情報をも受信メール制御情報格納部内へ受け取る段階と、受信者が返信メールを作成する場合に、前記応答要求表示選択手段により選択する応答を用いることにより、返信メールを自動的に作成し、送信元へ返信する段階とを含むことを特徴とする電子メールシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電子メールシステムに関し、特に、返信を必要とする電子メールのやり取りにおいて、返信メールを容易に作成することができる電子メールシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、ネットワークシステムの発展にともない、コンピュータ機器（パソコン、ワークステーション等）での電子メールシステムの利用が普及してい

る。電子メールシステムは、文書、音声、映像等のデジタル情報を、ネットワークシステムを介して一人または複数人で送受信するシステムである。

【0003】そして、電子メールシステムは、紙を用いた郵便や、会社内での通達や回覧と同様に色々な用途で利用されるが、その用途の一つとして、会議の案内や質問状のような、相手からの返信を必要とする場合がある。その際の返信メールは、相手から受信したメールの全部または一部に、受信した文書である事を示すマークを付けた部分と、返事の文書等で構成されるのが一般的である。

【0004】ここで、ただ単に受信メールの内容を表示するには、マウスやペン等のいわゆるポインティングデバイスの操作のみで簡単に行うことが可能である。しかし、返信メールを作成するには、受信メールから返事の必要な部分を見つけ出し、そこへ返事の文書等を書き込む作業を行う必要がある。その返事を文章作成する場合、文章を作成するために、キーボード入力、手書き入力、かな漢字変換、誤変換の修正等の色々な操作を行わなければならない。従って、電子メールを受信して読むだけであれば、簡単な操作方法を覚えるだけでできるが、返信メールを文章で作成するには、送信メールを作成する場合と同様に、コンピュータ機器の操作方法をより多く覚える必要がある。かつ、返信メールを作成するための文章入力に、より多くの時間を費やさねばならない。

【0005】また、電子メールにおける返信メールを管理する方法として、特開平6-237269号公報に、ある期日までにある役割を持つ人に返答情報の返信を依頼する電子メールを、返信依頼管理情報により、返信項目の不足や、権限のない項目への余分な返信がないように返信内容の管理を行う電子メールシステムが開示されている。さらには、特開平6-59992号公報に、返信を必要とする受信メールに対して、返信処理を行わない限り、削除等の特定の処理を禁止することのできる電子メールシステムも開示されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前記の公知技術においても、返信メールの文書そのものは電子メール受信者が入力する必要があった。すなわち、従来の電子メールシステムでは、返信メールの文章を作成するために、コンピュータ機器における文書作成のための機能等、多くの機能の操作方法を覚える必要があり、かつそのための時間もかかる。

【0007】また近年、電子手帳等の携帯端末の多機能化に伴い、ネットワークシステムへの接続機能を有し、電子メールシステムを利用できる携帯端末の製品化が行われているが、これらの携帯端末では、その小ささのため、パソコン等と比べてこれらの機器への文章等の入力に、より熟練を要するものとなっている。

【0008】本発明は、上述したような問題点に鑑みてなされたものであり、受信した電子メールに対し、読むだけの場合と同様の簡単な操作で、返信メールを作成できる電子メールシステムを提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本願第1の発明の電子メールシステムは、送信先の相手からの返信を必要とする電子メールを送信する場合に、送信メール作成手段により作成された電子メール本文とともに、送信宛て先、件名、応答要求設定手段等を含む、送信メール制御情報格納部の情報を付加して、電子メールを送信する。ここで、前記応答要求設定手段とは、応答必要箇所に目印コードを付与し、応答候補のリストを付加して、電子メール受信者の応答を要求する送信メール本文を作成する手段である。

【0010】詳しく述べると、送信メールの制御情報格納部には、送信宛て先、件名などの形式的情報以外に、応答要求設定手段として、

- ・受信メールの表示の時に、目印コードを表示するか否かの指定。
 - ・受信メールの表示の時に、応答候補のリストを表示するか否かの指定。
 - ・応答候補リストがない場合に使用する、標準の応答候補リスト。
- などの情報を有する。

【0011】さらに、本願第2の発明の電子メールシステムは、返信を必要とする電子メールを受信した場合、電子メール本文とともに、送信元、件名、送信元の応答要求設定手段の情報などを受信メール制御情報格納部内へ受け取る。そこで、送信元への返信メールを作成する場合には、受信メール制御情報格納部内の応答要求表示選択手段により、受信メールの応答要求箇所の目印コードを探し、応答候補のリストを表示させ、かつ選択することにより、返信メールを自動的に作成/送信する。

【0012】すなわち、受信メールを表示する時は、上記の受信メール制御情報格納部により、目印コードおよび応答候補リストの表示を行うか否かを制御して、受信メールの表示を行う。そして、電子メール受信者が、返信メールの作成を行う場合は、受信メールの目印コードの部分で、指定されている応答候補のリストを表示し、指定されていない場合は標準の応答候補のリストを表示し、メール受信者に応答リストの中から応答を選択させる。最終的に、受信メールと選択された応答とを組み合わせ、返信メールを自動的に作成して送信する。この応答の選択は、マウスやペン等のいわゆるポインティングデバイスの操作のみで行うことが可能である。

【0013】以上により、メール受信者は簡単な操作のみで、返信メール本文を文章入力することなしに、受信メールに対する返信メールを作成することが可能となる。

【0014】

【発明の実施の形態】本発明の電子メールシステムの実施形態の一例を図1に示す。図1は電子メールシステムの全体構成図であって、100は有線通信や無線通信を利用したネットワーク、101から104は電子メールの送信や受信を行う利用者が操作する端末機器である。

【0015】図2に、上記端末機器の機能ブロック図を示す。図2において、200は有線や無線のネットワークとの間で、電気信号や電波信号を用いてデジタル情報の送受信を行う通信制御手段であり、201は通信制御手段200で受信したデジタル情報から受信したメールを取り出す電子メール受信手段であり、202は送信するメールをネットワークへ送信するためのデジタル情報へ変換する電子メール送信手段であり、203は受信したメールや、作成中のメールや、送信待ちのメールを記憶しておく電子メール記憶手段であり、204は受信したメールの本文部分を格納する部分であり、205は受信したメールの制御情報を格納する部分であり、206は送信待ちのメールの本文部分を格納する部分であり、207は送信待ちのメールの制御情報を格納する部分であり、208は作成中のメールの本文部分を格納する部分であり、209は作成中のメールの制御情報を格納する部分であり、210は利用者の操作に従って、受信メールの表示や、返信や転送を含む送信メールの作成と表示などを制御する電子メール表示・作成手段であり、211はメールの内容や機能選択のメニューなどをディスプレイ等の表示デバイスに表示する機器であり、212は利用者が行うキーボードやマウス等の入力デバイスの操作を読み取る入力機器である。

【0016】図3に送信メールの制御情報の一例を、図4に送信メールの本文の一例を、図5に返信メールの本文の一例を示す。また、図6乃至図15に電子メールの作成/送信/受信/返信等の操作を行う場合の各場面での端末機器の画面表示の一例を、図16および図17に電子メール作成/送信/受信/返信のフローチャートを示す。

【0017】ここで、図4の送信メール本文中のクエスチョンマーク“?”が目印コードの一例であり、その後続く括弧“()”で閉じられた部分が返信メール作成のための応答候補リストである。また、図5において不等号“>”が、返信メール中の受信メール部分を示す受信文書マークである。なお、これらの図では、本発明に関連する部分のみを示しており、電子メールシステムの持つその他の種々の機能を実現する部分は示していない。

【0018】さらに、本実施形態においては、応答必要箇所の目印コードとしてクエスチョンマークを使用し、応答候補リストの表現には括弧で閉じられ、スラッシュで区切られた文字列を使用し、返信メール中の受信文書マークとして不等号を用いているが、他のコードや文字

列や表現方法を使用してもかまわない。また、説明を簡単にするため文章のみのメールを用いているが、音声や映像等のデジタル情報を含むメールであってもかまわない。

【0019】以下、図1に示す端末機器101から端末機器103へ、図3および図4に示す内容の送信メールを送信し、それに対して、端末機器103から端末機器101へ図5に示す内容の返信メールを送信するまでの処理を、フローチャート図16及び図17をもとに、詳細に説明する。

【0020】最初、図1に示す端末機器101の表示機器211（図2に示す）の画面には、図6に示すような電子メールシステムの機能選択のための初期画面が表示されている（図16-STEP1、以下S1等と省略する）。そこで、電子メール送信者が端末機器101の入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、図6に示すような画面の「メール作成/送信」を選択する（図16-S2）。この操作内容は入力機器212から電子メール表示・作成手段210へ送られ、電子メール表示・作成手段210で電子メール作成が選択されたことを判断し、図7に示すようなメール作成/送信の処理選択画面を表示機器211へ表示する（図16-S4）。

【0021】さらに、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、図7に示すような表示画面の「制御情報設定」を選択すると（図16-S8）、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に図8に示すような電子メールの制御情報設定画面が表示されることになる。よって、表示機器211に表示される制御情報の内容を確認しながら、入力機器212のポインティングデバイスやキーボード等を操作して、制御情報の設定を行う（図16-S9）。この操作内容は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211の画面表示が更新されるとともに、作成中の電子メールの制御情報として電子メール記憶手段203内の作成メール制御情報格納部209に記憶される（図16-S10）。そして、制御情報の設定が完了したら、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、図8に示すような表示画面の「終了」を選択する。その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、再び図7に示すような電子メール作成/送信の処理選択画面が表示される。

【0022】次に、入力機器212のポインティングデバイスを操作して、「メール本文作成」を選択すると（図16-S5）、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、図9に示すような電子メール本文の作成画面が表示されるので、ここで、入力機器212のポインティングデバイスやキーボード等を操作して、電子メール本文を作成する（図16-S6）。その操作は電子メール表示・作成手段210

で判断され、表示機器211の表示が更新されるとともに、作成中の電子メールの本文として電子メール記憶手段203内の作成メール本文格納部209に記憶される（図16-S7）。メール本文の作成が完了したら、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、表示機器211に表示されている図9に示す表示の「終了」を選択する。その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、再び図7に示す電子メール作成/送信の処理選択画面が表示される。

【0023】次に、入力機器212のポインティングデバイスを操作して、「応答要求設定」を選択すると（図16-S11）、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、図10に示すような応答要求の場所指定の画面が表示される。応答要求を指定する場所を、入力機器212のポインティングデバイスで指定すると、その指定は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、図11に示すような応答候補入力サブ画面が表示されるとともに、作成中の送信メールの応答必要箇所として、電子メール記憶手段203に記憶される。そこで、表示機器211に表示される内容を確認しながら、入力機器212のポインティングデバイスやキーボード等を操作して、応答候補を入力する（図16-S12）。その操作は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211の表示が更新されるとともに、作成中の電子メールの応答候補として電子メール記憶手段203に記憶される（図16-S13）。

【0024】応答候補の入力が完了したら、入力機器212のポインティングデバイスを操作して、表示機器211に表示されている図11に示す表示のサブ画面の「終了」を選択する。その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、電子メール記憶手段203に記憶されているメール本文の指定された応答必要箇所に、目印コードと応答候補リストが挿入されるとともに、表示機器211に、図10に示すような応答要求の場所指定の画面が表示される。なお、標準の応答候補を用いる場合は、図11の画面において応答候補の入力をせずに、サブ画面の「終了」を選択することもできる。応答必要箇所が複数個ある場合は、上記の場所指定と応答候補入力を繰り返した後、入力機器212のポインティングデバイスを操作して、図10に示す表示の「終了」を選択する。その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、表示機器211に、図7に示すような電子メール作成/送信の処理選択画面が表示される。

【0025】次に、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、「メール送信」を選択すると（図16-S14）、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、電子メール記憶手段203内の作成メール本文格納部208と作成メール制御情報格納部209に記憶している作成した送信メールを、送信メール

本文格納部206と送信メール制御情報格納部207へ移動する。なお、上記の説明では、送信メールの制御情報を設定し、次にメール本文を作成し、最後に応答要求の設定を行った後に、メール送信を行ったが、制御情報の設定よりメール本文の作成を先に行ったり、メール送信を行うまでに、同じ機能を選択して内容変更を行うことも可能である。

【0026】送信待ちとなった送信メールは電子メール記憶手段203から電子メール送信手段202へ渡され、電子メール送信手段202にて、図1に示すネットワーク100へ送信するためのデジタル情報へ変換され、さらに通信制御手段200にて電気信号や電波信号に変換され、ネットワーク100を介して、電子メール受信者の端末である端末機器103へと送信される(図16-S15)。

【0027】電子メールを受信した端末機器103では、受信した電気信号や電波信号を通信制御手段200にてデジタル情報に変換し、さらに電子メール受信手段201にて、デジタル情報から受信した受信メールへと変換され、電子メール記憶手段203内の受信メール本文格納部204と受信メール制御情報格納部205へ記憶される。端末機器103においても、最初は、表示機器211の画面には、図6に示すような機能選択のための初期画面が表示されている(図16-S1)。

【0028】まず、電子メール受信者が端末機器103の入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、図6の画面の「受信メール表示」を選択する(図16-S3)。この操作内容は入力機器212から電子メール表示・作成手段210へ送られ、電子メール表示・作成手段210で受信メールの表示が選択されたことを判断し、表示機器211に、図12に示すような受信メール一覧表示の画面を表示する(図16-S16)。

【0029】入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、内容を表示したいメールを選択すると(図16-S17)、その選択は入力機器212から電子メール表示・作成手段210へ送られ、電子メール表示・作成手段210でどの受信メールが選択されたかを判断し、表示機器211に、図13に示すような受信メールの本文が表示される(図16-S18)。この時、電子メール表示・作成手段210では、受信メールの制御情報中の「目印コードの表示/非表示の設定」および「応答候補の表示/非表示の設定」の設定内容によって目印コードや応答候補の画面への表示を制御する。受信メールの本文を確認した後、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、図13に示すような表示画面の「返信」を選択する(図16-S19)。

【0030】前記選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、受信メール本文に受信文書マークを付加し、宛先を受信メールの送信者にする等の変更を加えて、作成中の返信メールとして、電子メール記憶手段2

03内の作成メール本文格納部208と作成メール制御情報格納部209に記憶するとともに(図17-S20)、電子メール表示・作成手段210により、受信メール本文中の応答要求の目印コードが検索され(図17-S21)、表示機器211に、図14に示すような応答候補選択画面が表示される(図17-S22)。図14は、目印コードのある位置の前後の受信メール部分が表示され、目印コードの後ろにある応答候補のリストと、リスト中から応答を選択することを要求する表示とが、サブ画面として表示された一例である。この時、目印コードの後ろに応答候補のリストがない場合は、受信メール制御情報格納部205の中にある標準応答候補のリストを利用することもできる。

【0031】入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、応答候補を選択すると、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、選択した応答が、作成メール本文記憶手段208に記憶されている作成中の返信メールの該当する部分に挿入される(図17-S23)。受信メールに含まれるすべての目印コード部分に対して応答候補の表示と応答の選択の処理が繰り返され、作成中の返信メールに選択された応答が挿入される。すべての目印コードに対する処理が終わると、表示機器211に、図7に示すようなメール作成/送信の処理選択画面が表示される(図17-S24)。

【0032】必要に応じて制御情報の変更等を行った後、入力機器212のポインティングデバイス等を操作して、表示機器211に表示されている図7の画面の「メール送信」を選択すると(図17-S25)、その選択は電子メール表示・作成手段210で判断され、電子メール記憶手段203内の作成メール本文格納部208と作成メール制御情報格納部209に記憶している作成した返信メールを送信メール本文格納部206と送信メール制御情報格納部207へ移動する。送信待ちとなった返信メールは電子メール記憶手段203から電子メール送信手段202へ渡され、電子メール送信手段202にて、ネットワークへ送信するためのデジタル情報へ変換され、さらに通信制御手段200にて電気信号や電波信号に変換され、ネットワーク100を介して、返信メール受信者の端末である端末機器101へと送信される。

【0033】以上により、電子メール受信者は、文字入力操作等を行うことなく、返信応答のための機能や候補のメニューから、該当する項目をポインティングデバイス等で選択する操作のみで、受信メールに対する返信メールを作成して送信を行うことができる。

【0034】

【発明の効果】本発明の電子メールシステムは、ポインティングデバイス等の簡単な操作で返信メールの作成を行うことが可能となり、電子メール受信者が覚えておく必要のある操作方法を少なくすることができる。

【図面の簡単な説明】

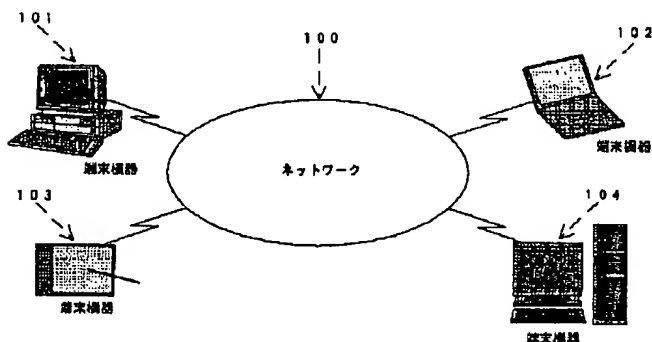
- 【図 1】 本発明の電子メールシステムの全体構成図である。
- 【図 2】 本発明の電子メールシステムの端末機器の機能ブロック図である。
- 【図 3】 本発明の送信メールの制御情報の例を示す図である。
- 【図 4】 本発明の送信メールの応答要求の情報を含んだ本文の例を示す図である。
- 【図 5】 本発明の返信メールの本文の例を示す図である。
- 【図 6】 本発明の電子メールシステムの初期画面を示す図である。
- 【図 7】 本発明の電子メール作成／送信の処理選択画面を示す図である。
- 【図 8】 本発明の電子メールの制御情報設定画面を示す図である。
- 【図 9】 本発明の電子メール本文の作成画面を示す図である。
- 【図 10】 本発明の応答要求の場所指定画面を示す図である。
- 【図 11】 本発明の応答候補入力画面を示す図である。
- 【図 12】 本発明の受信メール一覧表示画面を示す図である。
- 【図 13】 本発明の受信メール本文の表示画面を示す図である。

- 【図 14】 本発明の応答候補選択画面を示す図である。
- 【図 15】 本発明の返信メール本文の作成画面を示す図である。
- 【図 16】 本発明の電子メール作成／送信／受信／返信のフローチャート（その 1）である。
- 【図 17】 本発明の電子メール受信／返信／受信／返信のフローチャート（その 2）である。

【符号の説明】

- 100 ネットワーク
- 101 電子メールの端末機器
- 102 電子メールの端末機器
- 103 電子メールの端末機器
- 104 電子メールの端末機器
- 200 通信制御手段
- 201 電子メール受信手段
- 202 電子メール送信手段
- 203 電子メール記憶手段
- 204 受信メール本文格納部
- 205 受信メール制御情報格納部
- 206 送信メール本文格納部
- 207 送信メール制御情報格納部
- 208 作成メール本文格納部
- 209 作成メール制御情報格納部
- 210 電子メール表示・作成手段
- 211 表示機器
- 212 入力機器

【図 1】



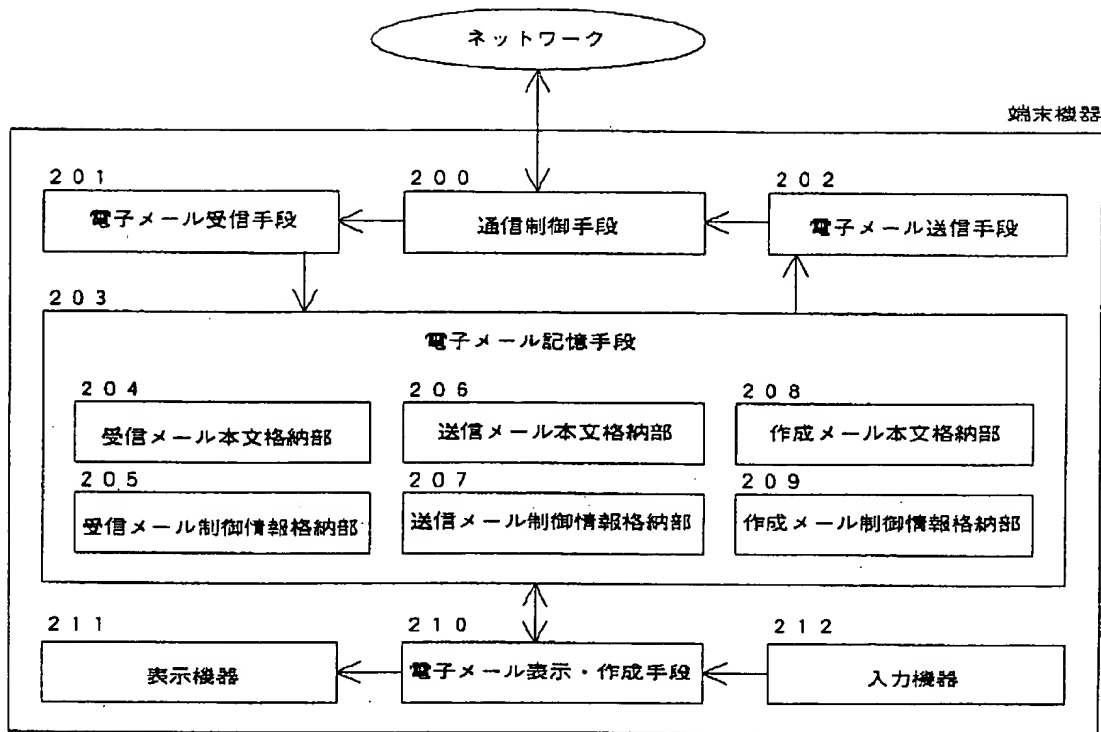
【図 3】

宛先：営業所所長
件名：所長会臨
目印コード：表示
応答候補：非表示
標準応答候補：（はい／いいえ）

【図 6】

電子メールシステム	
受信メール	返信： 15通
	未読： 3通
メール作成／送信	管理
受信メール表示	終了
—処理を選択して下さい—	

【図2】



【図4】

各営業所所長殿

営業所所長会議のご案内

平成8年1月19日

本社総合営業部

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。

また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申し上げます。

- 記 -

会議日時：平成8年1月26日（金）13：00～17：00

会議場所：本社8階805会議室？（出席します／欠席します）

懇親会：ホテル平成2階桜の間にて18：00から？（参加します／不参加です）

宿泊場所：ホテル平成？（朝食付で予約をお願いします／朝食なしで予約をお願いします／不要です）

【図5】

> 各営業所所長殿

> 営業所所長会議のご案内

> 平成8年1月19日

> 本社総合営業部

> 1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。

> また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を確保致しますので申し上げます。

> - 記 -

> 会議日時：平成8年1月26日（金）13：00～17：00

> 会議場所：本社8階805会議室

> 出席します

> 懇親会：ホテル平成2階桜の間にて18：00から参加します

> 宿泊場所：ホテル平成

> 不要です

【図7】

メール作成/送信

メール本文作成 応答要求設定

制約情報設定 メール送信

終了

—処理を選択して下さい—

【図8】

メールの制約情報

宛先: 営業所所長

件名: 所長会議

目印コード: ☒ 表示 ☐ 非表示

応答依頼: ☐ 表示 ☒ 非表示

標準応答依頼: はい
いいえ

—制約情報を設定して下さい—

終了

【図9】

件名: 所長会議

各営業所所長殿

営業所所長会議のご案内

平成8年1月10日
本社総合営業部

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。
また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

ひらがな カタカナ 英語 変換 終了

【図10】

応答要求の設定

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。
また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

— 日 —
会議日時: 平成8年1月26日(金) 13:00~17:00
会議場所: 本社8階805会議室
懇親会: ホテル平成2階様の間に 8:00から
宿泊場所: ホテル平成

—応答の必要な箇所を指定して下さい—

終了

【図11】

応答要求の設定

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。
また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

— 日 —
会議日時: 平成8年1月26日(金) 13:00~17:00
会議場所: 本社8階805会議室
懇親会: ホテル平成2階様の間に 8:00から
宿泊場所: ホテル平成

出席します
欠席します

—応答依頼を入力して下さい—

終了

【図12】

受信メール一覧 未読: 3通
既読: 15通

状態	件名	送信者	受信日時
未読
未読	所長会議	本社総合営業部	1998.1.19 14:25
未読
既読
未読
既読	金沢挨拶	山田社長	1998.1.8 11:40

終了

—メールを選択して下さい—

【図13】

件名: 所長会議

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。
また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

— 日 —
会議日時: 平成8年1月26日(金) 13:00~17:00
会議場所: 本社8階805会議室
懇親会: ホテル平成2階様の間に 8:00から
宿泊場所: ホテル平成

出席します
欠席します

—応答を選択して下さい—

返信 削除 終了

【図14】

件名: 所長会議

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。都合の悪い方はお知らせ下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

— 日 —
会議日時: 平成8年1月26日(金) 13:00~17:00
会議場所: 本社8階805会議室
懇親会: ホテル平成2階様の間に 8:00から
宿泊場所: ホテル平成

出席します
欠席します

—応答を選択して下さい—

終了

【図15】

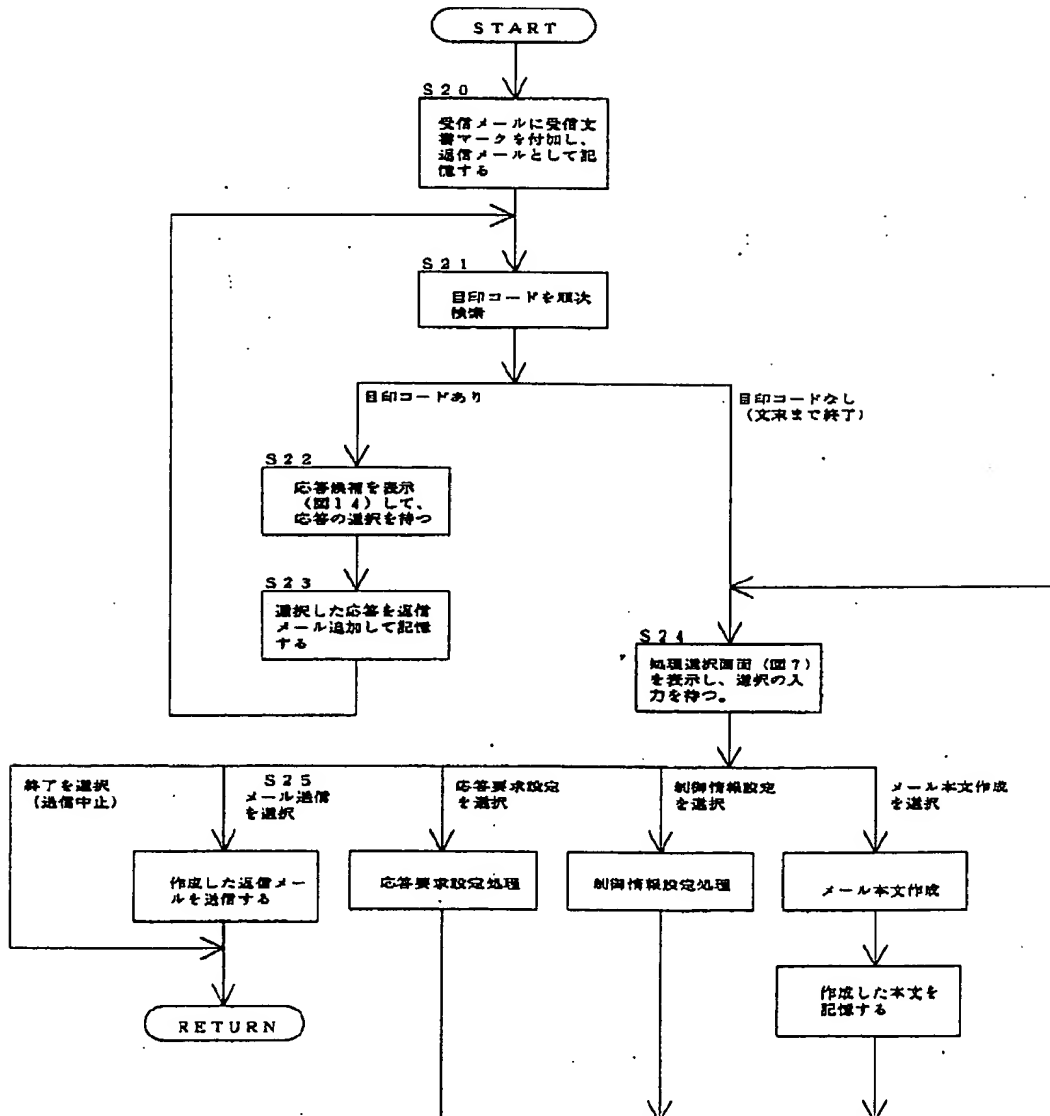
件名：(通信) 所長会開

1月の所長会議を以下の日程で開催いたします。御会の趣い方はお知らせ下さい。
また、会議の後に懇親会を開催いたしますのでふるってご参加下さい。懇親会後の宿泊を要する方は、お部屋を準備致しますので申しつけ下さい。

一 期 一
開催日時：平成8年1月26日(金) 13:00~17:00
開催場所：本社8階805会議室
出席します
懇親会：ホテル平成2東館の間に18:00から
参加します
宿泊場所：ホテル平成
不詳です

ひらがな カタカナ 英語 変換 終了

【図17】



【図16】

